

コンピュータ演習 第5回

今回のテーマは「ウェブの最新トピック、情報倫理」です。

- インターネットは良い面として、ウェブの最新状況を説明します。
- インターネット上でのトラブルを避けるための規範や規律について説明します。

連絡事項

授業では、eラーニングのシステムを利用します。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: <http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/>
- 自宅からでもアクセス可能です

今回の内容

1. [ウェブの最新トピック](#)
 - ウェブ上のコミュニケーション
 - ウェブ上での新しいサービス
2. [情報倫理\(情報モラル\)](#)
 - 情報倫理(情報モラル)の説明
 - 情報倫理に関するビデオの視聴と小テスト

今回の課題

- 課題: [ビデオの感想をワークシートにまとめる、など](#)

ウェブの最新トピック

新しいコミュニケーションの手段として

企業から個人まで多くの人たちが、ウェブを利用して活発に情報を発信しています。ウェブ状のコミュニケーションによって、情報が広く共有されています。ときには、実社会に影響を及ぼすこともあります。

- 電子掲示板 (BBS)
 - 2ちゃんねる (<http://www.2ch.net/>)、Yahoo!掲示板 (<http://messages.yahoo.co.jp/>) 等
- ブログ (Blog)
 - アメーバブログ (<http://www.ameba.jp/>)、JUGEM (<http://jugem.jp/>) 等
- SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
 - mixi (<http://mixi.jp/>)、Facebook (<http://www.facebook.com/>)、ひよこむ (<http://hyocom.jp/>) 等
- ミニブログ (「マイクロブログ」ともいう)
 - Twitter (<http://twitter.com/>) 等

みんなの情報が集まって新しい知識に

不特定多数の人たちが発信した情報が、さまざまな形でつながることで、流行をいち早くつかむことができたり、新しい知識に生まれ変わったりしています。

- 口コミ情報サイト (商品などの価格、グルメ情報)
 - 価格.com (<http://kakaku.com/>)、ぐるなび (<http://www.gnavi.co.jp/>)、食べログ (<http://tabelog.com/>) 等
- Q&A形式のコミュニティサイト
 - OKWave (<http://okwave.jp/>)、Yahoo!知恵袋 (<http://chiebukuro.yahoo.co.jp/>) 等
- Wiki (ウィキ)、まとめサイト
 - Wikipedia (<http://ja.wikipedia.org/>)、NAVERまとめ (<http://matome.naver.jp/>) 等
- ソーシャルブックマーク
 - はてなブックマーク (<http://b.hatena.ne.jp/>)、delicious (<http://delicious.com/>) 等

個人が持つデータを公開して共有

個人が所有している、写真や動画などをアップロード (投稿) して、手軽に共有するサービスに注目されています。

- 写真共有
 - Flickr (<http://www.flickr.com/>)、Instagram (<http://instagram.com/>) 等
- 動画共有
 - YouTube (<http://www.youtube.com/>)、ニコニコ動画 (<http://www.nicovideo.jp/>)
- ライブ動画
 - Ustream (<http://www.ustream.tv/>)
- ワープロ・表計算・プレゼンテーション、ファイル共有
 - Googleドキュメント (<http://docs.google.com/>)、Dropbox (<https://www.dropbox.com/>) 等

情報倫理（情報モラル）

インターネットの「光と影」

パソコンやインターネットが普及したおかげで、多くの人と手軽にコミュニケーションができたり、世界中の商品を簡単に購入できたり、インターネットにある膨大な情報を得ることができたり、私たちの生活は豊かになりました。

その反面、SNSでの安易な書き込みがトラブルに発展したり、インターネットを悪用してお金を騙しとる詐欺など、インターネットの中では実社会よりもトラブルや危険が身近にあるのも事実です。

自動車社会で法律や交通ルール・マナーが必要なように、情報社会でも、ネットワークを利用する人たちがお互いが快適な生活を送るために、ネットワークの利便性と危険性、そしてトラブルや事件から身を守るための法律やマナーを理解する必要があります。このような考え方を「情報倫理」または「情報モラル」といいます。パソコンやインターネットを安全に利用するために、守ってほしい考えです。

情報倫理に関するビデオの視聴

『情報倫理デジタルビデオ小品集3』（放送大学学園）というビデオ教材を視聴して、インターネットの安全性やマナー・モラルについて学習します。

ビデオの内容

ビデオは、8つのパートで構成されており、全部で30のテーマに分かれています。大学生の日常生活や学生生活に関連するテーマを中心に、ドラマによる事例と対策を紹介しています。

今回は、時間の都合により、次のテーマに絞って視聴します。

- 13. クチコミ情報は信頼できる？
- 15. SNSについた謎のコメント
- 27. Web貼りつけのレポートはNG

ビデオに関する小テスト

ビデオの内容を確認するために、ビデオに関する、簡単な小テストを行います。3択問題で、1つのテーマにつき4問ずつ問題があります。

小テストの答えは、ビデオを見ていればわかるようになっています。ビデオを視聴しながら、該当するテーマの問題を解いてください。

なお、小テストはeラーニング上で行います。採点は、回答終了後に自動的におこなわれます。

第5回の課題

情報倫理ビデオに関する小テスト（60点満点）

情報倫理デジタルビデオを視聴しながら、小テストに解答してもらいます。1つのテーマにつき4問ずつ問題があり、すべて3択問題です。

小テストはeラーニング上で行います。採点は、回答終了後に自動的におこなわれます。

ワークシートを作成する（40点満点）

「ウェブの最新トピック」について考えをまとめる

ウェブの最新トピックとして説明した、ウェブサイト（ウェブサービス）に共通する特徴や利点・問題点などを、ワークシートにまとめてください。

他の人と協力して、次の3つについて話し合った結果を、ワークシートに記入します。

- 新しいコミュニケーションの手段として
- みんなの情報が集まって新しい知識に
- 個人が持つデータを公開して共有

情報倫理デジタルビデオの感想をまとめる

視聴したビデオ教材について、ワークシートを活用して、感想や自分の意見・疑問をまとめてください。

感想や意見などは、次の構成で書いてください。（文字数は全体で400文字以上）

1. 「情報モラル」へのイメージ

- 「情報モラル」という言葉を聞いて、連想・想像する、自分のイメージを書く

2. 同意ができたテーマ

- ビデオ（とくに解説編）の内容に対して、強く同意・共感できたり、興味を持ったテーマを「1つ」だけ取り上げて、その理由を書く
- 自分や知り合いなどが、テーマに関連する体験していれば、それについても書く

3. 疑問を持ったテーマ

- 疑問を感じた・共感できなかった・よく意味がわからなかったテーマを「1つ」だけ取り上げて、その理由を書く

4. 全体の感想

- 視聴したビデオ全体に対して、全般的な感想や共感したところ、自分の意見や疑問、あらためて注意しようと思ったことを書く
- 自分でも何か体験していれば、それについても書く

5. 共感できたテーマの順序

- 視聴したテーマについて、共感や同意できた強さの順に、順位をつける

記入した内容は、次回の授業で使用します。しっかりと書いてください。

課題の提出

- 配布したワークシートに、手書きで記入すること
- 授業終了までに、授業担当者まで提出すること